

HiKOKI

取扱説明書

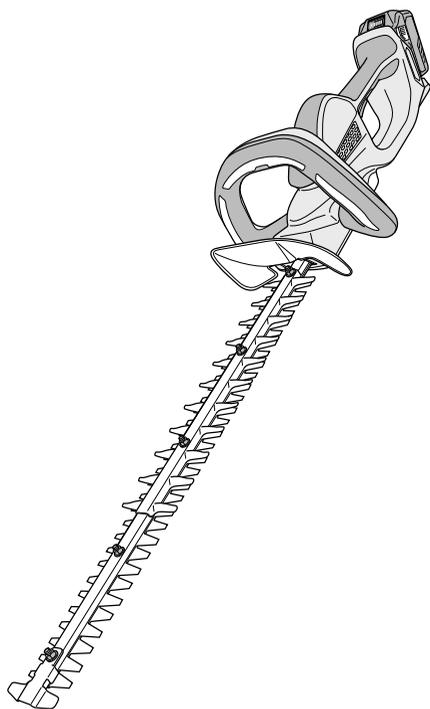
用途

- 生垣などの仕上げ刈込み
- 庭木の整枝、せん定

コードレス植木バリカン

36 V CH 3656DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
 ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
 お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに	コードレス工具の安全上のご注意…	1
	本製品の使用上のご注意…	5
	USB 機器との接続時のご注意 ……	7
	リチウムイオン電池の使用上のご注意 ……	7
	各部の名称…	9
	標準付属品…	10
	仕様…	11

使い方	各種操作方法について…	13
	作業する…	17
	上手な刈り方…	19
	蓄電池を充電する…	21
	USB 機器を充電する ……	23

その他	保守・点検…	25
	故障診断…	29
	ご修理のときは…	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体・ガスがある所での使用、充電、保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工するものをしっかりと固定してください。**
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて連ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。**
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
 - サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
 - コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス植木バリカンとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① **作業する箇所に電線などが無い事を、作業前に確認してください。**
電線などがあると、ブレードが触れ、感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。
- ② **使用中は、本体を両手で確実に保持してください。**
両手で確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ **フロントスイッチやトリガスイッチを引いた状態で固定しないでください。**
誤ってスイッチを引いたとき、不意に動きだし、けがの原因になります。
- ④ **使用中は、ブレードに手など身体を近づけないでください。**
ブレードに触れ、けがの原因になります。
- ⑤ **ブレードや付属品が確実に取付いていることを確認してください。**
確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ⑥ **使用前にブレードにひび割れ、歪み、異常磨耗など傷がないことを確かめてください。**
これらの傷を発見した場合には絶対に使用しないでください。刃物が破損し、けがの恐れがあります。
- ⑦ **針金や鉄板などを切らないでください。**
硬いものを切ると故障、けがの原因になります。
- ⑧ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑨ **誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑩ **ブレードは分解しないでください。**
けがの原因になります。
- ⑪ **本製品は機能上、稼働時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は身体的に負担をかけることがありますので、無理な姿勢は避け、定期的に休息をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。**
力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に身体的負担にご注意ください。

⚠ 警告

- ⑫ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑬ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠ 注意

- ① ブレードの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
不用意に扱うと、けがの原因になります。
- ② 芝を刈込まないでください。
破損の原因になります。
- ③ 作業直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。
- ⑥ 殺虫剤などの薬品が本体に付いたままにしないでください。
破損や亀裂が生じる恐れがあります。
- ⑦ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ⑧ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑨ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑩ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑪ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN 仕様を除く) リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

警告

蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品 (ねじ、釘など) とは別々にしてください。

⚠ 警告

- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他異常に気がついたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

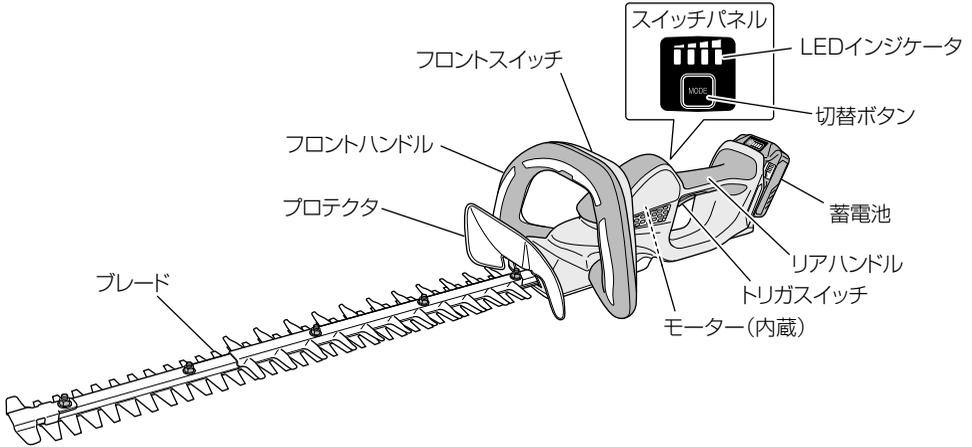


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

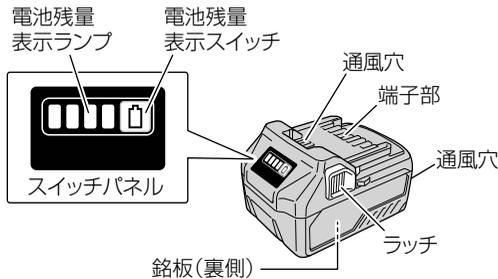
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

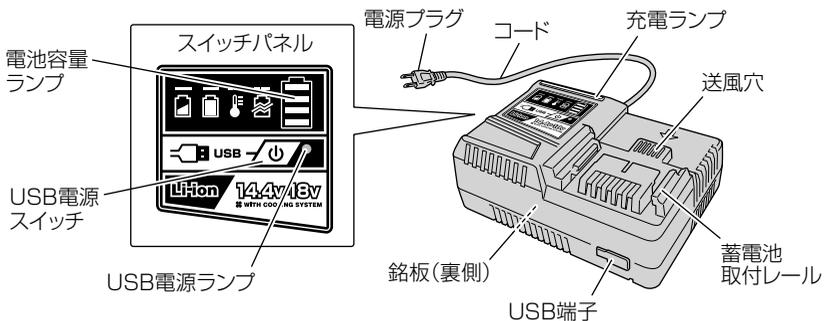
工具本体



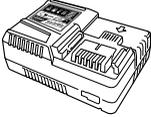
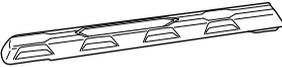
蓄電池



充電器



標準付属品

品名・形名	工具体 仕様	CH 3656DA		
		2XP	XP	NN
蓄電池 BSL 36A18 		2 個 (本体装着 1、 予備 1)	1 個 (本体装着)	—
充電器 UC 18YDL 		1 台	1 台	—
電池カバー 		2 個	1 個	—
ブレードケース 		1 個	1 個	1 個

仕 様

1. 工具本体

形 名	CH 3656DA
モ ー タ ー	直流モーター
刃物寸法 (刈込み幅)	560 mm
工 具 本 体 寸 法 全長×全高×全幅	1,088 × 176 × 239 mm (BSL 36A18 装着時)
無負荷ストローク数	1,000 ~ 1,500 min ⁻¹ { 回 / 分 }
運転時間 (満充電時)*	約 62.5 分 (BSL 36A18 装着、『モード4』時)
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池
質 量	4.1 kg (BSL 36A18 装着時)
パ ネ ル ラ ン プ	緑色 LED

※ 刈込む庭木の種類や刃物の切れ味によって変わることがあります。

2. 蓄電池

形 名	BSL 36A18
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 圧	36 V / 18 V (自動切替 ^{*1})
容 量	2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替 ^{*1})
冷 却	対応
使 用 可 能 コードレス製品 ^{*2}	18 V 品 36 V 品: マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能な充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器
残量表示ランプ	緑色 LED

※1: 工具本体により自動で切り替わります。

※2: 詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。

3. 充電器

形 名		UC 18YDL			
充電可能蓄電池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xxシリーズ)、18 V (BSL18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池			
入力電源		単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V			
蓄電池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V	
	タイプ	標準	薄型軽量	マルチボルト	
	充電時間*1 [気温20℃時]	BSL 1460 : 約 30 分 BSL 1860 : 約 30 分	BSL 1430C : 約 30 分 BSL 1830C : 約 30 分	BSL 36A18 : 約 25 分 BSL 36B18 : 約 40 分	
		BSL 1450 : 約 25 分 BSL 1850 : 約 25 分	BSL 1425 : 約 25 分 BSL 1825 : 約 25 分		
		BSL 1440 : 約 20 分 BSL 1840 : 約 20 分	BSL 1420 : 約 20 分 BSL 1820 : 約 20 分		
BSL 1430 : 約 15 分 BSL 1830 : 約 15 分		BSL 1415 : 約 15 分 BSL 1815 : 約 15 分			
充電電流	12.0 A	6.0 A	12.0 A		
USB端子	充電電圧	5 V			
	充電電流	2 A			
コ ー ド		2 心ビニールコード			
質 量		0.8 kg			
使用温度範囲*2		- 10 ~ 40℃			
冷 却		対応 (ファン付き)			
ブ ザ ー 音		あり			

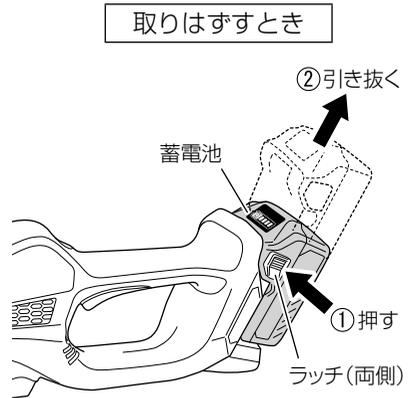
※1:蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなるときがあります。

※2:周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなります。

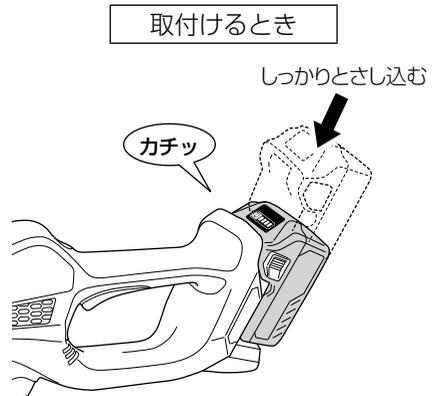
各種操作方法について

●蓄電池の取りはずし・取付け

蓄電池を工具本体から取りはずすときは、両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



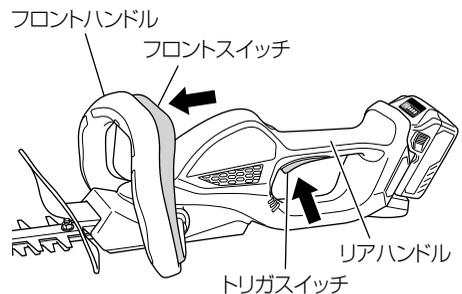
蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりとさし込んでください。



●スイッチについて

フロントハンドルのフロントスイッチ、リアハンドルのトリガスイッチの両方のスイッチを引くと動きます。

また、どちらかのスイッチをはなすと止まります。



●スピード調整について

⚠注意

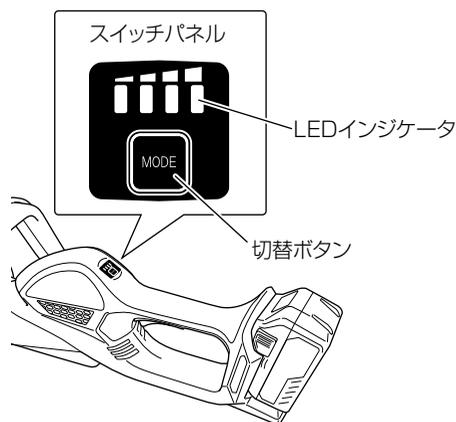
スピード調整は、スイッチを入れてない状態で行ってください。
故障の原因になります。

作業内容や刈込む枝木によって、ブレードのスピードを4段階で調整することができます。

高速にするほど蓄電池の消費が大きくなりますので、適切なスピードを選択してください。

切替ボタンについて

切替ボタンを押すごとに、スピードが4段階(1,000、1,170、1,330、1,500回/分)に切り替わります。



- 注**
- 蓄電池を本体に取付け、一度リアハンドルのトリガスイッチを引いた後でないと、切替ボタンを押してもLEDインジケータ(緑)は点灯しません。
 - 蓄電池の消費を少なくするため、15分間リアハンドルのトリガスイッチを操作しないと、LEDインジケータ(緑)が消灯します。

LEDの点灯状態(緑)				
最大ストローク数	1,000 min ⁻¹ {回/分}	1,170 min ⁻¹ {回/分}	1,330 min ⁻¹ {回/分}	1,500 min ⁻¹ {回/分}
作業用途	太めの枝 仕上げ(整枝)作業		細めの枝 深い刈込み用	

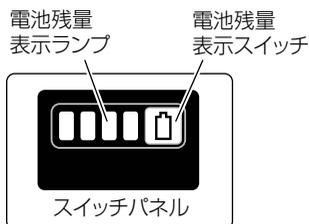
● 電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約3秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止 ^{※1}
		故障のため出力停止 ^{※2}

※1: 蓄電池を工具本体から取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

● ブレードケースについて

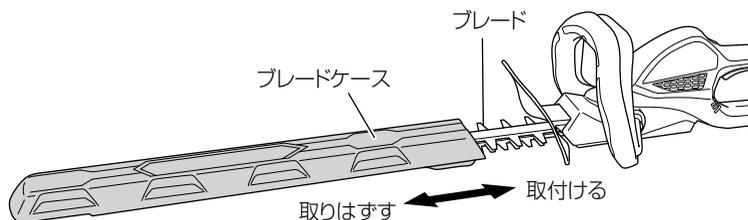
⚠ 警告

ブレードケースの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠ 注意

ブレードケースの取付け・取りはずしの際は、ブレードに手や、体が触れないように、ゆっくりとした動作で行ってください。
けがの原因になります。

本機をご使用にならないときは、けが防止のため必ずブレードケースをブレードに取付けてください。



作業する

⚠ 警告

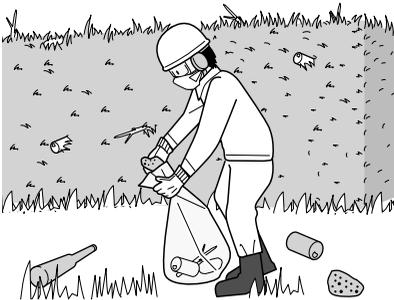
- 使用する前にならず周囲に人がいないことを確認してください。
事故の恐れがあります。
- 使用中は、ブレードに手や、体を近づけないでください。
ブレードに触れ、けがの原因になります。
- 使用中は保護メガネをかけてください。
木の枝や木くずが飛び散ると、けがの原因になります。
- 針金や鉄板などを切らないでください。
硬いものを切ると、故障・けがの原因になります。
- 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。
- 雨の中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。
- 常に足元をしっかりとらせ、スリップなどで身体のバランスを失わないように十分注意して使用してください。
- 急傾斜地では使わないでください。
- ブレードが足元に近づくような機体操作はしないでください。
- ブレードが石、木の株、その他の障害物に当たる恐れのある場所では使わないでください。

1

作業場所を整備する

ブレードにかみ込んでけがや事故の原因になりそうな物は、あらかじめ取り除いてください。

また、作業時足場となる部分については、不安定であったり、つまずいて転んだりする物がないように整備してください。



2

ブレードケースを取りはずす

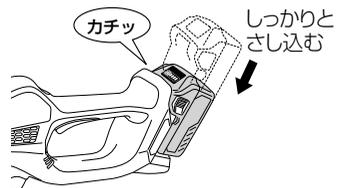
ブレードに触れないようにゆっくりと引き抜きます。

(P.16「ブレードケースについて」参照)

3

蓄電池を取付ける

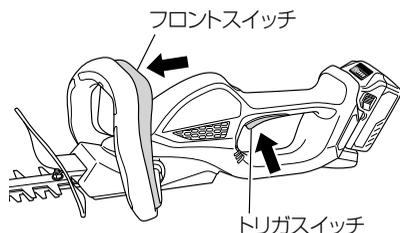
下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりとさし込んでください。



- 注** •使用前と作業中の1時間に1回程度は、ブレードに注油（マシン油、機械油など）をしてください。
注油は適量とし、余分な油はふき取ってください。
- 作業途中（休憩時など）に、工具本体を直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。
モーターの冷却が十分に行われず、故障の原因になります。
 - モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方をしないでください。
故障の原因になります。負荷をかけ過ぎないように使用してください。

4 スイッチを入れる

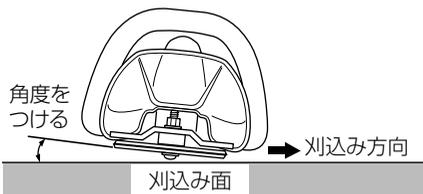
フロントスイッチとトリガスイッチ、両方を引きます。
(P.13「スイッチについて」参照)



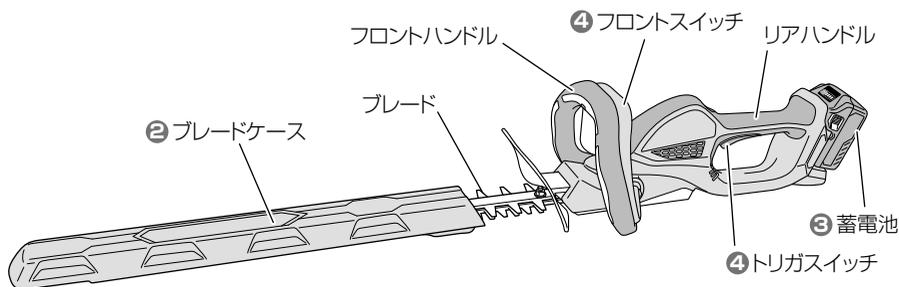
ハンドルに親指を掛け、他の指とともにハンドルを囲むように握ってください。

5 作業する

刈込みを行う場合、刈込み方向（ブレードの進行方向）に対して刃先を少し下げてください。枝の導入が良く、きれいに刈込めます。



詳しくは、P.19「上手な刈り方」を参照してください。



○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

上手な刈り方

⚠注意

- 太い枝は、あらかじめせん定バサミで切っておいてください。
能力以上の負荷を加えると、故障の原因になります。
- 太い枝などをかみ込んだ場合は、直ちにスイッチを切ってください。
ロックさせたままにすると、故障の原因になります。
- 高い庭木には、しっかりしたはしごや脚立を用意してください。
- 芝生や雑草の刈込みをしないでください。
故障やけがの原因になります。

せん定は、年に2回を目安に行うことをおすすめします。

- 1回目は、春から梅雨までの時期に太い枝を抜いたり、強く刈込むせん定を行います。
2回目は、その後に伸びた枝をカット（整枝）するよう軽く刈込みます。

一般的な庭木・生垣の刈込みスケジュール（月）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花や実を 観賞する 生け垣				← 開花期 →						← 果実鑑賞期 →		
				← 刈込み期 →						← 整枝期 →		
緑を楽しむ 生け垣			← 新緑発生期 →					← 新緑発生期 →				
				← 刈込み期 →				← 整枝期 →				

●上手な庭木の刈り方

- 太い枝は、あらかじめ仕上げる樹姿の10cmくらい内側をせん定バサミで刈込んでおきます。

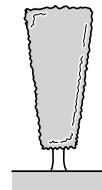


- 密生した枝葉については、下から上に向かって刈込み、お好みの形状に仕上げます。

良い刈込み



悪い刈込み



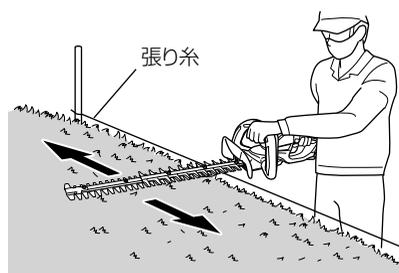
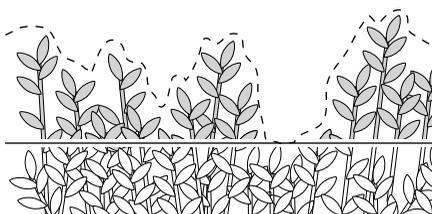
- 玉ものは、上の方を深く刈り、下の方は浅く刈ります。
（徒長枝を刈込む）



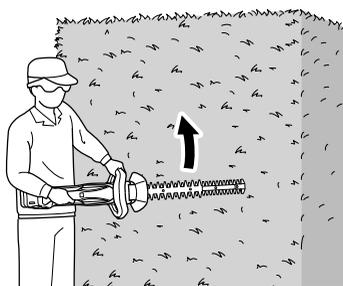
上の方は思い切って刈込む

● 上手な生垣の刈り方

- 生垣の上面を平らに刈るときは、少しはなれたところから見て、一番低いところの葉が残るラインを基準にして刈りすすめます。
- とときどき、休憩を兼ねて作業を中断し、全体のバランスを少しはなれたところから確認してください。
- 張り糸をつけて、これを目安にして刈込むと、角部（コバ）を鋭角に仕上げやすくなります。



- 背の高い生け垣を刈るときは、足下の注意を怠らないようにして、ゆっくり刈りすすんでください。
- 高い壁面状の生垣の側面を刈るときは、刈った枝や刃が自分に当たらないように、体の少し横側でなでるように刈ります。



蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

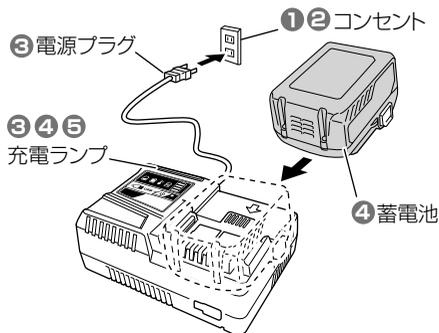
⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BSL 36A18 : 約 25 分

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源や直流電源、昇圧器などのトランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(P.22「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまでさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青に連続点灯して、充電開始をお知らせします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容量を表示します。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5秒点灯/0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音:約6秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯/0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1秒点灯/0.1秒消灯  (連続ブザー音:約2秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。

ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。

電池容量ランプ



ランプの表示					
	点滅	点滅	点滅	点滅	点灯
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

⚠警告

- 使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。損傷した USB ケーブルを使用しますと、発煙・発火の原因になります。
- 使用しないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

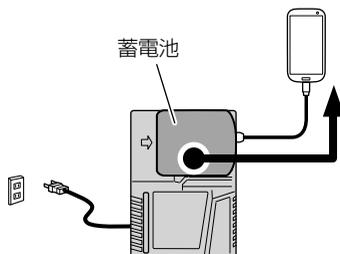
電源のない場所で弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
 - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。(詳細は、P.29「故障診断」参照)。
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

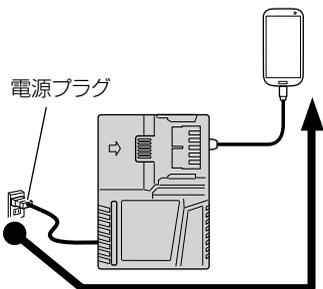
1 充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

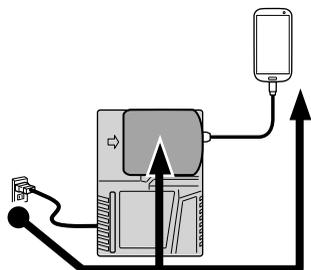
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



2 USB 電源スイッチを ON にする

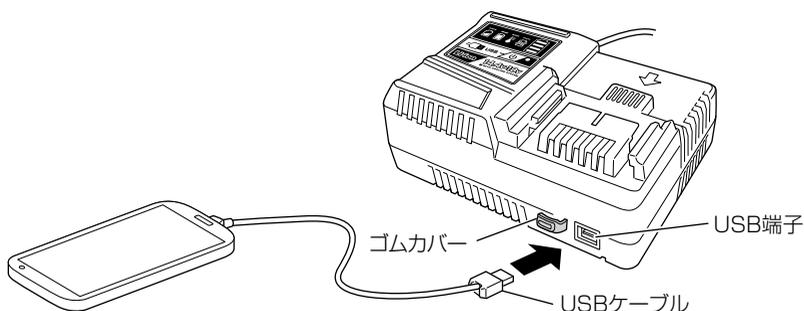
USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



USB電源スイッチ
USB電源ランプ

3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

保守・点検

⚠ 警告

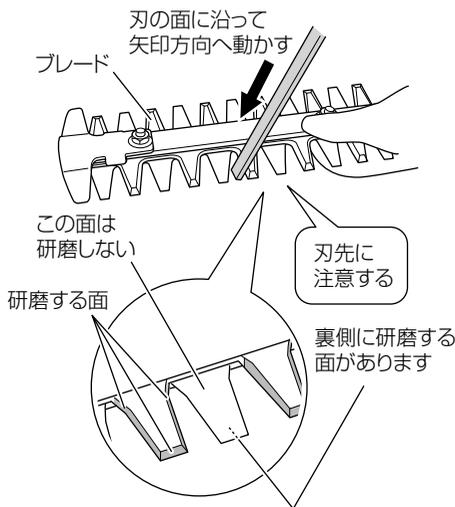
- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブレードは分解しないでください。
けがの原因になります。
- ブレードの取扱いには、手袋、布などで手を保護し十分注意してください。
けがの原因になります。

●ブレードの研ぎ出し

- 注** ●ブレードは水洗いしないでください。
さびや故障の原因になります。
- ヤニとりスプレーをご使用になる場合、ヤニとりスプレーにはプラスチックを溶かすものがありますので、本体にかからないように注意してください。

鉄ヤスリを矢印の方向へ動かして粗とぎして、油トイシで仕上げます。

- ① 中目または細目の鉄ヤスリを使います。
- ② 油トイシは機械油（自転車油など）を塗って研ぎ出します。
- ③ ブレードの刃の裏側に出た返りをトイシで軽く取り除きます。



ブレードの研ぎ出し時期

刈込む草木の種類や使い方、使用期間などで異なりますが、目安として年に一回はブレードを研ぎ、いつでも切れるようにしてお使いください。

●ブレードの交換方法

ブレードの交換は、お買い求めの販売店に依頼してください。

●ブレードへの注油

刈込みの際、刃先についた樹液などにより、負荷が増し、電池の消耗が早くなり使用時間が短くなることがありますので、機械油（または自転車油など）を注油し、布でふき取ってください。

●機体の点検

各部品品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

使用後やシーズンオフにはブレードがさびないように、必ず機械油を注油してブレードケースを取付けて保管してください。

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●本体の運搬

警告

蓄電池をはずして、ブレードにブレードケースを取付けて本体を運搬してください。
ブレードケースを取付けずに運搬すると、ブレードが身体に触れて、けがの原因になります。

● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。



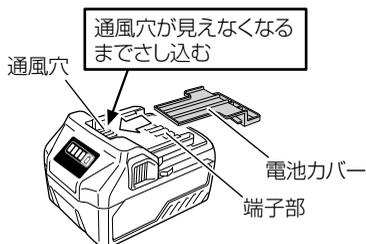
BSL36A18

● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注** リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。
- 充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

1. 工具体

状況	原因	対策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池のさし込みが確実でない	蓄電池を引き抜いて、工具体の電池挿入口から異物が混入していないか確認してください。 また、蓄電池の端子部に汚れ等が付着していないか確認してください。 また、蓄電池は「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。
	ブレードに異物がはさまっている	ブレードに異物がはさまっているときは、蓄電池を抜き取り、ペンチなどでゆっくり異物を取り除いてください。 異物を取り除いたとき、反動でブレードが動くことがあるので、十分に注意してください。 樹液の付着やさびなどでブレードが動かなくなることもあるため、ワイヤブラシなどで樹液やさびを取り除いてください。
	大量の草木を一緒に刈込んで、過負荷状態になっている	いったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。 (モーターを保護する機能で、過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります)その後、もう一度スイッチを引いてください。
	フロントスイッチとトリガスイッチのスイッチを引いていない	フロントスイッチとトリガスイッチの両方を引いてください。 (本機は、フロントスイッチとトリガスイッチの両方を引かないと動かない構造になっています。)
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷を与えた原因を、解消してください。
	蓄電池または本体が過熱状態になった	蓄電池および本体を十分冷ましてください。
刈込みが上手にできない	ブレードの切れ味が悪くなっている	樹液やさびをワイヤブラシなどで取り除き、切り刃をヤスリや砥石で研ぎ出すそれでも切れ味がよくならないときは寿命と考え、販売店に依頼し、新品と交換してください。
	太い枝を切ろうとして、ブレードの動きが止まる 注 繰返しブレードが止まってしまうせん定作業を繰り返すと、モーターの故障の原因になります。	あらかじめ、太い枝は余裕のある太さまで、せん定はさみで短めに刈込んでおいてください。 太めの枝は直角方向からせん定するようにしてください。 (斜めにせん定すると、切断する面積が大きくなり負荷が大きくなります。)
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。

2. 充電器

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中で一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>